



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2022年7月会報

第403号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P)

K.C. Samuel(インド)

主 題

「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」

Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT

スローガン

「自己を超えて、変化を起こそう」 BEYOND SELF and BE THE CHANGE

アジア太平洋地域会長(AP) Shen Chi-Ming (台湾)

主 題

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Elegantly Change with New Era

スローガン

「今すぐ実行を」 Doing It Right Now

西日本区理事(RD) 田上正(熊本むさし)

主 題

「原点を知り将来に生かす」 Know the origin and utilize it in the future!

スローガン

「立ち上がれワイズモットーと共に！」Stand up Y's Men with our Motto!

六甲部長 若林成幸(宝塚)

主 題

困難な時にこそYMCAと共に進もう」

宝塚クラブ会長 小林康男

主 題

みんなでつなごう心の輪 笑顔で健康 笑顔で幸福

今月のテーマ：キックオフ
みんなでつなごう心の輪
笑顔で健康、笑顔で幸福

宝塚クラブ 会長 小林康男

2022年7月例会

日 時：2022年7月13日(水)18:30
場 所：宝塚市立西公民館(ZOOM可)
会 費：1,500円
ドライバー 長尾 亘 多胡葉子
開会点鐘 福田宏子直前会長
ワイズソング 全 員
聖書朗読 小林康男
祈 禱 吉田 明
ゲスト・ビジター紹介 福田宏子直前会長
役員交代式
六甲部部長挨拶 若林成幸部長
会 食
総 会

1) 新年度活動方針

2) 決算報告 3) 予算審議

YMCA報告

誕生日のお祝い クラブ会長

ニコニコファンド

閉会点鐘 小林康男会長

2022~2023 役員	会長 小林康男 副会長 郡家 学 書記 武田寿子 会計 郡家 学 会計監査 吉田 明 加藤光信 担当主事 橋本 唯 ネット連絡 小林貴美子 直前会長 福田宏子
7月 誕生日	該当者なし
6 月 実 績	例会出席者数 23名(Zoom1名) 在籍会員数 20名 出席会員数 16名(Zoom1名) 出席率 80% メイクアップ(内数) 0名 ネット・コメント・孫メット 2名(0 Zoom) ゲスト・ビジター 3名(Zoom0名) アソシエイト会員 2名 例会充足率 115% ここここBOX 5,000円 累 計 52,300円 ファンド(豚肉他) 5,000円 累 計 51,730円 (真菰茶) 11,500円 累計 62,670円 ファンド合計 114,400円

聖句

「主は、国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。」

(イザヤ書 2:4a)

随想

実は昨年7月にも同じ聖句をあげ、1945年6月19日の「福岡大空襲」について書かせて頂きました。無事の市民が被ったさまざまな悲惨な出来事が伝えられており、こういう戦争被害から平和を願う言説は、日本各地で語り継がれていることと思います。

ところが戦争には被害や犠牲だけでなく、「加害」または「加担」という面が必ずあります。福岡ではその大空襲とちょうど同じ頃、アメリカ軍捕虜を医学実験に使ったいわゆる「九大生体解剖事件」が起っていました。大分県内で撃墜されたB29の搭乗員が逮捕され、内6名が福岡に送られ、当時の九州帝国大学医学部内にて、海水を希釈した代用血液輸血の有効性や片肺切除後の生存可能性を探る等の解剖実験手術を受け、全員が死亡したものです。証言者によれば当時は、空襲で多くの人命を奪った敵兵を処刑するのは当然であり、実験材料にすることもありうべきだったそうです。

戦後は命を救うはずの医学教育施設内で起こった虐殺事件として大きく報じられ、説やドラマ等にもなっていますので、多くの方がご存じかと思います。

一旦戦争が起こってしまったら、誰も「加害」や「加担」の責任を免れることはできないと思わされます。

日本基督教団が戦時中、キリストに従って平和実現のために働くより、国策に協力して戦争遂行に加担してしまった事実を認め、その過ちを告白した「第二次大戦下における日本基督教団の責任についての告白」（いわゆる「戦責告白」）が発表されたのが、戦後20年以上も経過した1967年でした。同じ敗戦国ドイツの教会の罪責告白からも20年以上遅れました。しかし少なくともこの戦責告白によって日本基督教団はキリストの教会であることを内外に証しできたのだと思います。

5月号で取り上げたロシア正教会が、今回のウクライナ侵攻を支持し正当化したという事態について、キリストの言葉に立ち帰り、その責任を認めて戦争責任告白をする日は一体いつになるのでしょうか。その日が来ない限り、ロシア正教会は真のキリストの教会たり得ない、と言わざるを得ないでしょう。

神の前に自らの罪を認め、悔い改めて平和のために働く以外に、キリストの教会が生きる道は残されていないはずだからです。

金田俊郎

6 月例会報告

6 月例会は久しぶりに古巣の宝塚西公民館に戻り 6 時 30 分に開会、出席者は 21 名うち Zoom 出席者 1 名、ゲスト 1 名でした。会長の開会点鐘に始まり、ワイズソング、聖書朗読、(福田素) 開会祈祷、(今田ワイズ) の後、ゲスト紹介があり、食事に入った。食事中、きらりと輝くアート展が Web 公開されており宝塚クラブ紹介の作品が紹介された。

1 年間の活動報告の評価と引継ぎが各委員長から報告された。



会長からはきびしいコロナ状況のもとではあったが、予定されたプログラムをほぼ実行でき若い世代の声を聴くことができた。特に地域活動の強化は One Christmas がリアルで実行でき好評であったこと、はんしん自立の家との共同行事の尻揚げが実施されさらに、西谷への散策、綿の種まき新たな展開を模索することができた。また宝塚温泉祭りの参加や、NGO 展にワイズの活動の写真を展示、宝塚「たからの市」への参加など新しい展開ができたことは新しい可能性を感じる。ウクライナ募金は会員の協力を得て、YMCA 同盟に送金できたことは

感謝であると報告された。また若林次期六甲部部长からは地域社会の問題解決に向けた活動を展開し YMCA の知名度を上げるためにも次年度は宝塚ワイズが中心となって大風呂作り、地域交流を考えてはどうかという提案があった。

武田寿子

6 月第2例会報告

6 月第 2 例会は、6 月 15 日(水)18:30~20:30、西公民館において、福田会長、小林、若林、多胡、石田、武田、吉田、郡家、長尾、福家、青柳 (zoom) の出席により開催された。

議事要旨は次の通り。

1. 例会の運営

- ① 7/13 (水) キックオフ例会 18:30~20:30 西公民館 会費：¥1,500 (食事あり)。
役員交代式 (進行：若林) のあと六甲部長挨拶、定期総会 (決算の承認・各委員会の活動計画・予算審議) を行う。
なお、会計監査を 7/6 13 時から西公民館で実施する。

- ② 8/10 (水) は納涼・会長のご苦労さん会として別会場で行う。候補：がんこ亭
詳細は小林次期会長が交渉する。
- ③ 9 月以降のゲストスピーカーを協議し、9/14 京都トウビークラブの溝口誠メン
から「隠れキリシタン」、10/12 藪田恵氏から「Chair Exercise」を内定した。

2. 各委員会報告

- ① 交流：(石田) *第 25 回 西日本区大会:2022 年 6 月 11 日 (土) 岡山国際ホテル
参加者 488 名、Web 参加 48 名、また石田ワイズが指導してきた前夜祭のフラは大好評
で、コロナ禍下に Line で練習を重ねた成果が出た。
今年も地域奉仕、環境奉仕の特別賞、また BF、CS、Y サ献金 100%達成クラブとして表彰さ
れた。
- ② CS: (多胡)
 - *「キラリと輝くアート展」は新しい試みの Web 上で公開されたが、好評で、宝塚クラブか
らは多くの出展ができた。会場に行けない方々も施設内で見ることができ、次回展示で
きるときも Web でも公開することようにしたい。
 - *西谷地域：綿の草抜については雑草抜きを 7, 8 月実施したい。メールで参加可能な人を
募集する、また自立の家での綿の種抜きも月 1 回程度計画、協力してほしい。
- ③ NGO: (福家、鯖尻) 7/30~31 国際交流センターにて、ホールにて各団体紹介を映像
で(5分)、ギャラリーで販売とビデオ放映(市民クリスマス動画) 予定。前日の飾り付け
と 2 日間の当番に協力してほしい。当番表を後日メールで送る。
- ④ ブリテン(長尾): 例会ツールとしてパソコン購入の提案があり協議の上、承認された。
中古で性能が良いものを長尾メンに依頼することになった。
- ⑤ YMCA 報告 2022 年度神戸 YMCA 大会(総会) 2022 年 6 月 25 日(土)13:30~17:30
三宮会館及びオンライン (Zoom) 多胡、若林が出席予定。

3. その他

- ① 余島での One Camp への寄付要請があり、従来通りに行うことを了承した。
- ② 石田ワイズより例会出欠の確認について、食事手配に影響するので、期日までに必ず連絡し
てほしい旨、注意喚起があった。アソシエイトの出欠に配慮が必要。
- ③ アソシエイトの藤井氏が顔を見せられ、宝塚教会で募集したウクライナ献金の一部をワイズ
活動のために献金する、と説明されて 6 万円を持参された。早速、協議し日本 YMCA 同盟のウ
クライナ支援募金に送ることを決めた。

書記 武田寿子

会長挨拶



2 年以上も続いてなお出口の見えないコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵攻と心休まらない日々が続きます。このような時こそ皆が心を合わせ、困難に立ち向かうことが大切だと思います。

子どもの笑顔は皆を明るくし、病気や嫌なことを忘れさせてくれます。また、それを見て私たちも自然と笑顔になります。私たちが笑顔でいることは、自身の免疫力を高め健康増進にも役立ちます。

私たちもいつも笑顔で周りの人たちを幸せな気持ちにしたいと思えます。

今年度は宝塚ワイズメンズクラブ設立 35 周年を迎える年にあたります。このような年に会長を務めることになり、非常に荷が重いですが、微力ながら精一杯務めさせていただきたいと思えます。皆様のご助力をよろしくお願いいたします。

小林康男

直前会長挨拶

2022～2023 : 「一年間の振り返り」



思い起こせば、昨年この時期は、コロナ禍で、どのような例会が持てるか？会場は？

講師は？ゲストは？と不安の材料が山積の状態であった。しかしながら、思い悩むのは

止めて、若者諸君から元気を貰おうと!!決心し、気分新たに可能な限りの異職業の方々に

アタックをした。Y's Mens Club 100 周年記念植樹にも関わって下さり、2本の染井吉野の毎年の成長も今後の楽しみの一つとなった。

また第 25 回西日本区大会が、新山兼司理事の下、6月 11 日(土)、岡山国際ホテルにて、約 600 名の参加者と共に盛大に開催された。久々に遠方よりの懐かしいワイズメンに再会できたのは、大きな喜びであり、最優秀賞を獲得した京都トップスクラブの圧倒すべき若者の活力に、是非あやかりたいと祈った大会であった。

一年間、お支え下さった皆様への感謝は、計り知れない・・・！



福田宏子

第 24 回 西日本区大会を終えて

アロハ！第 25 回西日本区大会前夜祭報告

ほぼフルリアル開催となった今回の西日本区大会の前夜祭は 2022 年 6 月 10 日(金) 18:30 から岡山プラザホテルで持たれました。



この日は 2 年前の緊急事態宣言期間中から始まったワイズフレッスンの成果を披露する初めての機会でした。内外の大きな大会が次々と中止になる中モチベーションを失わずこの晴れ舞台を夢見てレッスンを続けて来た 9 名は華々しくデビューする事が出来ました。

グループ名は「フラ・オハナ・コモハナ」、西日

本区のフラを愛する大切な仲間と言う意味のハワイ語です。殆どのメンバーがワイズで何らかの役員を務めていて超多忙な中、その名の通り協力し合い大切な絆を結んで来ました。

1 曲目から大きな拍手で緊張もほぐれ、最後の曲「月の夜は」は 80 名を超える参加者の多くが舞台上、舞台前に集まって最高に盛り上がりました。

「足、がくがくした」と言ってた MK さんは「又、やろう！」とハイテンション。みなさんの熱い応援で自然な笑顔溢れる素晴らしい初舞台でした。

メンバー全員の努力は素晴らしいものがありますが、今回はこの状況の中で早くから大きな判断をされた新山兼司理事、実行委員会のみなさまの温かいお心遣い、そして当日練習場所を提供して頂いた岡山教会、岡山クラブの三浦克文ワイズに心からの感謝を申し上げます。

これこそアロハスピリット！



石田由美子

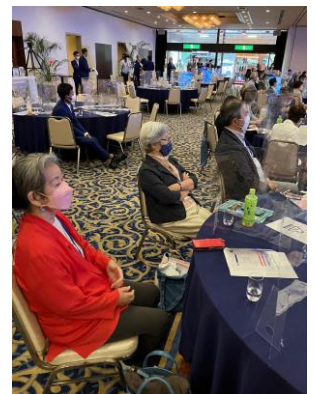
第 25 回西日本大会に参加して

初めてメネットアワーに参加した。こじんまりした心温まる雰囲気漂う集い。メネットソングの作詞者やワイズがご縁でご結婚なされて今なおホットな姉君、そして今日こそ語らんやという気骨あふれるみなさま方のお姿を拝して、そこまでおっしゃられるのかと度肝を抜かれっぱなしの私。宝塚では皆無だったドネイション事業を 1 チームだけで 4 つ、5 つは 10 数個達成されたチームが現れて、またまた腰を抜かす。ほとぼり冷めやらぬまま、このコロナ禍で 488 人を収容している大会場に移動する。夕食の 10 数台のキャンピングカーが並んでいるのに驚き、絶えず流れるバックグラウンドミュージックと大きなスクリーンが三つデンとかかっているさまに、主催者の意気込みの深さが伝わってくる。参加するのは 2 度めだが、こんな演出は初めてだ。

何よりも感動したのは次期理事長のご就任のご挨拶。透き通る伸びやかなりんとしたお声でワイズにご入会されたときのお気持ちを話される。ご自分が過ごして来られた環境と全く違う環境に身を置かれて、新鮮でありワイズに学び育てられた自分史のお話である。最近ワイズに身をおいて、とても学ぶことが多いなあとつくづく考え始めていた私と重なって涙が出そうになった。

ワイズの大会に身をおかせていただいた今日この一日に、感謝しながら家路に付いた私です。

福家清美



西日本区大会の感想



私は、西日本区大会に初めて参加しました。まず、現地に着いたときに人の多さに圧倒され、過去2年間、このように多くの方々リアルで一同に会する機会がなかったことが当たりまえになってしまっていたと感じました。そして、今回何よりもワイズ歴が全くない私にとって、西日本地区にはたくさんのワイズメンがいて、様々な活動をされていることを理解しました。Roster を見れば、その数は分かります。ただ、現地に行くことで、より一層ワイズの方々の活動や思い、またその熱狂ぶりを肌で感じる事ができた半日でした。

担当主事

橋本 唯

第 25 回西の本区メネットアワーに参加

リアル参加を主として開催された西日本区大会。恒例通り大会前にメネットアワーのプログラムが開催された。宝塚から福家、多胡の二人が参加。全体では約 50 人の参加。

今期のメネット竹内芳江事業主任は活動中心のヘアードネイションを呼びかけメンと共に親愛の情を持って真の奉仕をメネットの優しい心を届けましょうと活動を展開されました。子どもたちにヘアードネイションの意味をしっかりと伝え多くのこどもと共に取り組んだ部、独自のポスターを作成し、YMCA が窓口となり各所に宣伝した活動をされた部など心温まる活動の報告でした。16 人、11 人、7 人と多くのドネイションがあったとのこと。この事業は締切を 3 月とされていましたが、反響があり、今後も続けられる方法を考えていくとのことでした。



今期でメネット事業という部署がなくなり、委員会という組織になるとのこと。今まで多くのメネット事業が展開されてきたその尊い

働きを一つづつ思い起こしながら、進められたメネットアワーだった。

メネットソングを作詞された今井利子ワイズ、次期委員長としてその荷を担われる吉本典子ワイズ、最後に閉会の言葉を述べられた森愛子ワイズからこれまでのメネット事業の数々の尊いお働きやその苦労話がなされ、関わってきた一人一人にとっては忘れがたいメネットアワーの時間を共有したひと時だったと思われる。

新しく発足するメネット委員会は事業としての役割ではなくメンと共にこれまで通り交流の輪を広げ、西日本区の事業推進に関して積極的に協力していく委員会となるとのこと。

委員長を助けての委員会組織として 4 人が協力をするとのこと。その中のお一人に六甲部から神戸クラブの森愛子メネットが入られた。

時代とともにこのように変化をもたらしながらメン、メネットの区別なく共にワイズのメンバーとして活動の輪が広がっていくことになるの思いを美味しい昼食のお弁当を食べつつ思ったメネットアワーへの参加でした。

多胡葉子

メンバーの近況報告

白馬からの花便り



私の白馬通いは 1989 年からで 33 年以上になるが、来るたび白馬三山はじめ北アルプスの山々は時々刻々変わる美しさと迫力を見せてくれ感動してしまう。

関西からは車でも電車でも6時間以上かかる 430 kmの長旅だが、最後の信濃大町から白馬までの緩やかな坂道を進むと、青色の水をたたえた仁科三湖があり、旅の疲れも吹っ飛ぶ。そのうち残雪や時には真っ白な山々が見えてきて、ついはいよいよでしまう程の景色が迎えてくれる。

この度 5 月の連休に来た頃には濃いピンクと白の山桜、その後にはウワミズザクラ、やまうつき、色んな木々の花や関西とは一月遅れの新緑を楽しめた。田植えが始まった 5 月末、近くの田んぼの畦道にも色とりどりの花で賑わっている。ピンクのひめじょん、白と赤のクローバー、濃い紫のあやめ、どこまでも続く白いデイジーの花等白馬に来て初めて見る景色だ。6 月に入ってもどこの農家さんの庭先にもルピナスやいちみつ、デイ

ジーが咲いていて村中花盛りだ。この時期の長逗留での発見だ。

山から吹く心地よい風と小鳥のさえずりを聞いていると何年も生き延びる気がする。近年多くの外国人が家を建て移り住んでられるのもこの地に魅せられての事と思う。宿屋はうちだけでなく、ピンから色々あるので、皆さんのお越しを待っています。

青柳美知子



YMCA ニュース

三宮会館では、この4月から、神戸市子ども家庭局子ども未来課が取り組んでいる「食を通じたつながり支援」を始めています。生活が厳しい子育て世帯の方々へ食品を提供しています。詳しくは、神戸市のホームページをご覧ください。「子育て世帯への食を通じたつながり支援神戸市」で検索または、こちらからそれに伴い、ボランティアも募集しています。ご協力いただける方は、YMCA 松森までご連絡お願いいたします。



活動内容;食糧品日用品のお渡し及びその準備と片付け

活動時間:【お渡し】第1・3金曜日 16時～19時

第2・4土曜日 10時～13時

【事前準備】第1・3金曜日 14時～15時、16時～17時

活動場所:神戸 YMCA 三宮会館

問合わせ:本部事務局(松森) Tel. 078-241-7201

担当主事

橋本

編集紀行コーナー

また、今期もブリテンを担当します。皆さんに投稿原稿を書いて頂いているので、助かっています。今期もよろしくお願いいたします。

ブリテン担当 長尾 亘

2022～23 年度前期会費をお願いいたします・
会計

(宝塚クラブ銀行口座)

銀行名 三菱 UFJ 銀行宝塚中山支店
口座番号 普通預金 4585836
口座名 宝塚ワイズメンズクラブ

事業委員		(委員長)		
	Y サ・ユース	若林成幸	武田寿子	
	CS 地域・環境	多胡葉子	青柳美知子	今田和子
	"		風早寿郎	
	EMC	鯖尻佳子	長尾 亘	
	広報・ブリテン	長尾 亘	福家清美	重松えみり
	交流・ファンド	石田由美子	杉谷和代	福田素子
特別		(委員長)		
事業委員	TIFA NGO 協議			
	会	鯖尻佳子	福家清美	
	じゃがいも	郡家 学		
	市民クリスマス	若林成幸		
	"			